



# 神奈川県東ロータリークラブ

## KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2012-2013年度 R I 会長 田中 作次

●クラブテーマ「調和・Balance」●



第2590地区 ガバナー  
露木 雄二

- 会長 飯田 泰之
- 会長エレクト 伊東 英紀
- 副会長 山田 正憲
- 副会長 吉田 隆男
- 幹事 西山 潔
- 副幹事 山本 芳弘
- 会計 朝日 達夫
- 副会計 金森 欣一
- S A A 横溝 亘
- 副 S A A 矢野 修二
- 副 S A A 河野 明光
- クラブ会報 森 永 健



写真提供 角田伯雄会員

**事務局** ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3  
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555  
**例会日** 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)  
**例会場** ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和51年5月29日  
**URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>  
**E-mail** kerc@beach.ocn.ne.jp

2012-2013年度 **第36週報 No. 1783** 2013年(平成25年) 4月5日 第1783回例会記録 4月12日発行

**司会** 山本 芳弘 副幹事

**特別行事**

◎米山奨学金贈呈

**点鐘** 飯田 泰之 会長



**斉唱** 「君が代」 「奉仕の理想」

**四つのテスト** 澁谷 高弘 職業奉仕委員  
(第1例会のみ)

**ゲスト紹介** 野副 伸一 様 (ゲストスピーカー)  
李 徳雨 様 (米山奨学生)

本日〈4月12日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「我等の生業」
- ◆ 献立 鯖のムニエル
- ◆ 卓話 「大人の星空の楽しみ方」

プラネタリウム・プランナー かわいじゅんこ 様  
(紹介者 小山 市康 会員)

## 誕生日祝

吉田 隆男 会員 (4月6日)  
横山 範夫 会員 (4月6日)



その後はロータリアンの紹介に始まり、卓話の泉、友愛の広場、ロータリー・ネットワークと定例のページが続いております。今月号も内容盛りだくさんです。どうぞお楽しみ下さい。

## スマイルボックス 矢野 修二 副SAA

吉田隆男君 ①誕生日祝い、ありがとうございます。②澁谷様、昨日はありがとうございます。

横山範夫君 ①誕生日祝い、ありがとうございます。6日で64歳となります。今後ともよろしくお願い致します。②野副伸一先生、卓話、よろしくお願い致します。

飯田泰之君 ①ゲストスピーカーの野副伸一様、本日の卓話、よろしくお祈りします。②米山奨学生 李徳雨さん、ようこそいらっしゃいました。

石川正三君 本日の卓話は、緊迫する朝鮮問題のスペシャリスト、野副先生です。時間があれば質問もどうぞ・・・。

山本 登君 まだ半袖を出していません。

西山 潔君 野副伸一様、本日の卓話、よろしくお祈り致します。楽しみにしています。

澁谷高弘君 矢野さん、貴重な品、ありがとうございます。大事に利用させていただきます。

伊東英紀君 春めいて来ました。今日、各地で入学式が行われています。野副様、本日の卓話、楽しみにしています。

山田正憲君 ①田中龍太郎さん、今度はゴールド免許を目指しましょう。②野副伸一様、本日の卓話、楽しみにしています。

茂木知子さん ～中高年の出会い、菊名記念病院にて～ 菊名記念病院で受付を待っている時、何やら気落ちした風情の銀髪の紳士が歩いていました。月山会員でした。久しぶりに感じた胸の高まりが実は不整脈だったそうです。次は内視鏡室の待合でガウンを着た男性の一人に遭いました。西山会員と主人でした。

小山市康君 野副伸一様、本日の卓話、よろしくお祈りします。動向が気になる今です。

矢野修二様 ①野副伸一様、ようこそおいで下さいました。本日の卓話、よろしくお祈り致します。②米山奨学生 李徳雨さん、元気ですか？

## 会長報告

飯田 泰之 会長

・4月19日(金)の例会時間変更について

開会点鐘 12時15分

卓話時間 12時45分より13時45分迄 (1時間)

テーマ「子どもと未来をつなぐ宇宙」

卓話者 宇宙航空研究開発機構 名誉教授 的川泰宣様

閉会点鐘 13時45分

## 幹事報告

・本日、例会終了後にクラブフォーラムを開催致します。大勢の参加をお願い致します。 場所 5F ジュビリーⅢ

・次週、例会終了後に4月度定例理事会を開催致します。

## 委員会報告

雑誌委員会 委員長 天野 公史

「ロータリーの友 4月号」横組みから紹介します。

4月号は、雑誌月間ということでロータリーの各地域雑誌について紹介されております。活用法や表紙など、お国柄が出ており、興味深いです。12ページからは、ナイジェリアでポリオの子供たちの治療に取り組むインドの外科医が多くの写真とともに掲載されており、ポリオ撲滅に向け、続けなければならない事業だと強く感じました。20ページからは田中作治 R I 会長の日本帰国時の様子と東日本大震災に対する多くのクラブからの支援について、また、各地区ガバナーメッセージ、ロータリーに関する情報も掲載されておりますのでご覧下さい。

次に縦組みですが、2650地区 I Mでの基調講演「日本人のこころと復興について」のテーマで、宗教学者ならではの切り口で書かれており、とても勉強になりました。

4月5日	12件	32,000円
本年度累計		1,685,500円

## 出席報告

竹山 洋 出席委員長

会員総数	54名	(37+17)名	
出席会員数	44名	(30+14)名	
出席率	84.31%		
ゲスト	2名	ビジター	0名
前回補正後	90.00%	前々回補正後	88.00%

## 「北朝鮮の核脅威下の韓国 —2013年3月の韓国現地調査—」

亜細亜大学アジア研究所 所長 野副 伸一 様  
(紹介者 石川 正三 会員)



筆者はこの3月10日(日)から17日(日)までソウルに滞在し、ジャーナリスト、国会議員、コンサルタント、脱北者等に会い、様々なテーマで意見交換をした。この韓国訪問は毎年3月に行っており、「韓国の政治、経済、外交、南北関係等の定点、定時観測」となっている。今回は15回目当たる。

我々のソウル滞在中には、北朝鮮の第3回核実験(2月12日)への国連安保理の制裁決議に対する北の強い反発が南北間に強い緊張をもたらしていた。また2月25日に発足した朴槿恵政権がやっと初閣議(3月11日)に漕ぎ着ける有様で、安倍晋三政権の好スタートとは対照的であった。

以下、簡単に印象に残ったことを記しておきたい。

1. 観光ブームが続くソウルではホテル確保が簡単でない。我々が泊まったホテル(客室75室)の大通りを挟んだ反対側には観光ホテル(同163室)が建設中であった。
2. ウォンの対円レートは10日には100円=1090ウォンであった。1年前には100円=1300ウォンであったから、この間に210ウォン(19.3%)切り上がったことになる。滞在中今年の経済成長率は当初の3%から2%へ下方修正された。
3. 昨年12月の大統領選挙では、朴槿恵与党セヌリ党候補が当選したが、勝因は何であったのだろうか。色々の見方をソウルで聞いたが、筆者の判断では、盧武鉉・金正日会談(2007年10月)の秘密テープの国会での暴露が大きかったと言えよう。会談では盧武鉉大統領は、黄海のNLL(北方限界線)への否定的発言、北朝鮮のミサイル・核開発への肯定的評価発言等、韓国の国益を大きく損なう発言をしていた。この発言は保守派を反発させ、大同団結させた。
4. 今回の北核実験成功がもたらした特徴は、北の核武装が韓国にとって現実の脅威として浮かび上がった点にある。この北核の脅威に対し、南北対話の継続、中国を通じた北説得、米国のミサイル防衛網への参加等の主張があるが、注目されるのが韓国

自身の核武装論である。

5. 2月に実施された世論調査では、応答者の60%以上が韓国の核武装に賛成している。保守派ジャーナリストの趙甲濟氏は、「自衛的核武装論は第2の独立運動である」とし、国民投票を実施し、過半数を得たら韓国はNPTを脱退すべきであると主張する。
6. 注目されるのが、朴政権の北への対応である。青瓦台(大統領府)関係者は3月10日、「北がNLL南側海域にミサイルを撃てば被害はなくても相応の措置を取る。今までの政府は全面戦の可能性のため延坪島挑発に対し北の海岸砲陣地を攻撃できなかったが、朴槿恵大統領は違う。・・・今の朴大統領は断乎としている」主張している。
7. 与党系シンクタンクの元所長は「北は2~3年内に大きな変化があるだろう。韓国は統一問題について国民運動を始める」と韓国の主体的取り組みの必要性を語っていた。

## クラブ奉仕クラブフォーラム

テーマ「魅力あるクラブづくりと会員増強について」

4月5日(金)例会終了後にクラブ奉仕による第4回クラブフォーラムが開催されました。



## ロータリーニュース

卓越したローターアクト・プロジェクト賞の  
受賞クラブが発表される

インド、ムンバイのローターアクター(会員のほとんどが医師)は、貧しい地域の学校に通う子どもたちのために、視力検査や総合

的な眼科医療を提供しています。医療キャンプの方式で行われているこのプロジェクトで、何千人もの子どもたちが恩恵を受けました。

カドゥセウス・ローターアクト・クラブ（インド、ムンバイ）によるプロジェクト（子どもたちに視力検査や眼科医療を提供する「Vision Six by Six」というプロジェクト）が、卓越したローターアクト・プロジェクト賞を受賞しました。

会員はこのプロジェクトのためにさまざまな募金活動を実施し、15,500米ドルを集めました。子ども一人あたり1ドル以下で眼科検診の費用が賄えるよう、医療品をまとめて購入しただけでなく、白内障や斜視の手術を提供するため、3つの非営利組織病院と協力しました。

受賞クラブは、3月11～17日の世界ローターアクト週間に合わせて発表されました。各地域から選ばれた受賞7クラブのうち、ムンバイのクラブが世界賞に選ばれました。受賞クラブは、6月にポルトガルのリスボンで開催されるローターアクト大会前会議にて、プロジェクトに関する発表を行います。

この医療キャンプで治療を受けた子どもたちは、目の屈折障害、感染症、アレルギー、ビタミンA欠乏症などに苦しんでいました。プロジェクト開始後7カ月間で、1万人以上の子どもたちが検査を受け、そのうち1,520人が何らかの視力矯正治療や手術を受けました。

クラブ会長のパンカジ・ジェタワニさんは、次のように話します。

「ムンバイ地域の政府が運営するリソースの少ない学校に通う子どもたちを支援したいと考えました。彼らは視力検査を受けたことがなく、何らかの屈折障害を抱えています。黒板がよく見えないために学校が嫌いになる子どもや、見えないことを問題ではない、または治療が不可能であると思ってる子どもがいます。このキャンプで治療する子どもたちのほとんどが、これまでに眼科にかかったことがありません」

プロジェクトの計画、実施、評価、募金活動においては、提唱クラブであるボンベイ・セントラル・ロータリー・クラブが支援を提供しました。募金活動の一つとして行ったコメディショーでは、非営利のコンサルティング会社と協力し、インドで有名なコメディアン4名の公演を無料で取りつけました。また、インターネットを利用したクラウドソーシングで、寄付も幅広く働きかけました。

医療キャンプの実施だけでなく、子どもたちに正しい眼科ケアの方法を学んでもらうため、教師に対する研修プログラムも開始しました。この結果、92%の子どもたちが、研修を受けた教師から教えられた眼科ケア（眼鏡をかけるなど）を実行していることが分かりました（キャンプから2カ月後）。

「このプロジェクトは多くの子どもたちを支援し、彼らの未来にも影響をもたらす正しい治療を提供することができました」とジャタワニ会長は話します。

#### 地域賞のクラブ

世界ローターアクト週間に地域賞に選ばれたローターアクト・プロジェクトは以下の通りです。

- ・アフリカ：カイロ・ロイヤル・ローターアクト・クラブ（エジブ

ト、第2450地区）によるプロジェクト「Tanweer el Heiz」：クラブ会員は、エジプトの村（el Heiz）にある16の家に太陽光システムを設置しました。これにより、村人は、食物を安全に貯蔵し、子どもたちが夜間に勉強するための電気を確保することができました。クラブはこの村のほかの350世帯にも太陽光システムを設置できるよう、募金活動を実施しています。

- ・アジア太平洋地域：イラワラ・ローターアクト・クラブ（オーストラリア、ニューサウスウェールズ州、第9750地区）のプロジェクト「The Urban Grown City Farm（都市の農園）」：クラブ会員はほかの地域団体と協力し、有機農園を作り、運営することで、若者の雇用を創出し、地元の事業主に農産物を販売する機会を提供しました。

- ・ヨーロッパ：パリ・ローターアクト・クラブ（イタリア、第2120地区）とユニセフAfghan Women and Children（アフガン女性と子ども）によるプロジェクト：クラブ会員はユニセフと協力し、アフガニスタンで10人の助産師を研修し、出産に必要な医療物資を提供しました。

- ・ラテンアメリカ：ガイアナ大学ローターアクト・クラブ（第7030地区）の「ピクトリア識字率向上プロジェクト」：クラブ会員は、地元の小学校で毎週、50人の生徒を対象にした識字率向上および計算スキル向上のプロジェクトを実施しました。さらに、学用品や教室用の備品なども寄贈しました。

- ・南アジア：H. R. 大学ローターアクト・クラブ（インド、第3140地区）のプロジェクト「I for an Eye」：クラブ会員は、一般の人々の眼球提供への認識を高め、ドナーカードへの誓約を奨励するため、学校や地域でさまざまな行事を実施しました。また、同クラブはカドゥセウス・ローターアクト・クラブ（本年度の国際賞受賞クラブ）と協力し、眼病治療のために14,000米ドルを集めました。

- ・米国、カナダ、カリブ海諸国：イエール大学ローターアクト・クラブ（米国、第7980地区）によるインドの部族地域社会への職業研修プロジェクト：クラブは、インドのボンベイ・ミッドタウン・ロータリー・クラブと協力し、インドのマハラシュトラの部族地域社会に職業研修センターを設置しました。このセンターでは、洋裁や溶接などのスキルを教え、地元の人々の生活の質の向上を目指しています。

ロータリー・ニュース

次回《4月19日》の卓話予定  
テーマ「子どもと未来をつなぐ宇宙」  
宇宙航空研究開発機構 名誉教授 的川 泰宣 様  
（紹介者 飯田 泰之 会員）